

学習指導要領等の周知に関する取組 (これまでの取組と今後の予定)

平成30年9月6日
教育課程部会
資料8

| 対象 | 周知・広報の手段 |
|------------|--|
| 教職員 | <p>解説の作成(総則と各教科合わせて小学校14編、中学校13編、高等学校27編) 中央説明会(全都道府県・政令指定都市の指導主事対象、全国3か所で小・中、全国2か所で高について実施)で全教科等の解説を説明 小学校約2,000名、中学校約2,000名、高等学校約1,500名 各都道府県等による研修に文部科学省職員を講師として派遣 全国36都道府県に派遣、約2万5,000名(平成29年度)が受講 平成30年度もおおむね同水準の見込み 「初等教育資料」「中等教育資料」等の文科省出版物への記事掲載や識者の意見、好事例等の紹介 教育関係雑誌等の出版物への寄稿 アクティブ・ラーニングの事例研究((独)教職員支援機構) カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究 アクティブ・ラーニング及びカリキュラム・マネジメントに関する研究の成果報告、グッド・プラクティスの共有(平成30年5月9日、10日にサミットを実施。約540人が参加。) 学習指導要領冊子の全教員への配布(小学校約546,000部、中学校約360,000部配布済み) 文部科学省ホームページ上での新学習指導要領Q&Aの公表 校内研修用の20分動画(YouTube)資料の作成(小学校18本作成済み・延べ約47,000回再生(9/3時点)) 大学(特に、教員養成系大学、教職課程を有する大学)への説明</p> |
| 児童生徒・保護者 | <p>一般向け周知イベントの実施(こども教育たんけん隊) パンフレットの作成 一般向け動画(YouTube)資料の作成 PTA関係者や、地域学校協働本部、コミュニティ・スクール関係者への説明</p> |
| 教科書・教材会社 | <p>解説の作成 教科書セミナー(全教科等について教科書会社に対して説明) 日本図書教材協会編集者研修会(全教科等について教材会社に対して説明)</p> |
| 教育に関心のある国民 | <p>一般向け講演会(Education Expo等) パンフレットの作成 一般向け動画(YouTube)資料の作成</p> |

これまでの取組 実施・検討中
 高等学校学習指導要領も上記に準じて実施予定。

こども教育たんけん隊 ~ぼくたち・わたしたちの授業がどうやって決められているか調べよう!~ 実施報告

目的・内容

新学習指導要領の実施に向け、子供たちに自分たちの学習内容がどのように決められているかについて興味・関心を持ってもらい、探究的な学習を通して、その成果を子供目線で発信することで、保護者をはじめとする多くの国民に学習指導要領に関心を持ってもらうことを目的に開催。
本イベントは、3日間にわたり、参加者が自身の興味・関心に基づき発見した課題・疑問を文部科学省の職員に取材、学習指導要領・教科書などで調査したことを紙媒体にまとめ、大臣・大臣政務官や文部科学省職員、保護者等に対して発表した。

- ✓ 日程・場所：平成30年8月21日～23日 @文部科学省
- ✓ 参加者：公募で申込みのあった小学校5、6年生12名（3名×4グループ） 各グループに文科省インターン生をサポーターとして配置
- ✓ プログラム：
 1. 文部科学省紹介@情報ひろば
 2. 学習指導要領改訂に関する子供たちの「気づき」をもたらすワーク等
 3. 現役記者による取材ポイント講座
 4. 学習指導要領・教科書などを使用した調査
 5. 大臣政務官・文部科学省職員への取材
 6. 大臣・政務官との昼食会
 7. 発表資料の作成
 8. 大臣，大臣政務官，保護者，文部科学省職員等への発表会



大臣政務官への取材の様子



大臣・大臣政務官との昼食会の様子



発表資料作成の様子



発表会の様子

- ✓ 今後の展開（案）：
 - ・ 文部科学省ウェブサイトイベントの様子，発表資料，報告書を掲載
（1日目報告動画の再生数（Facebook・YouTube 合計）6,204回 2・3日目報告動画の再生数（Facebook・YouTube 合計）4,559回 9月11日時点）
 - ・ 地方説明会における文部科学省担当者説明での発信
 - ・ 文部科学省情報広場にて発表資料の掲示
 - ・ 教育委員会にイベントの様子，発表資料，報告書等情報を展開
 - ・ 教育委員会を通じて各学校にイベントの様子，発表資料，報告書等情報展開を促す
 - ・ 子供目線での学習指導要領に関する疑問・気づきなどをウェブサイト等で発信



文部科学省ウェブサイトイベントの様子等を掲載しています。

子供目線での学習指導要領に関する疑問や気づき

<疑問>

- ・なぜ昔と比べて、今の授業では新しい教科があるのだろうか。 ・なぜ1週間に1コマしかない科目と、たくさんある科目があるのか。
- ・なぜ、1年生から6年生になるにつれて、授業時間が増えるのか。 ・小学校では算数なのに、なぜ中学校からは数学になるのか。
- ・授業科目が増えたということは、なくなった授業科目があるのか。それとも授業時間が増えてしまうのか。

<気づき>

- ・学習指導要領は、先生の教科書ではなく、自分の教科書でもあるように感じた。
- ・今後、学校に行った時に授業に対しての見方が変わってくると思います。今後は誰かに今回学んだことを教えてあげたい。
- ・「学習指導要領」は生きている。生きているから変わっていく。色々な教科を学習指導要領と子供と一緒に学び、そうやって学習指導要領も育っていく。それが学習指導要領のひみつなのではないかと思う。